患者さんへ

「超音波診断装置による前上腕回旋動脈および結節間溝周囲に分布する動脈枝位置の検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

1 研究の対象	2026 年 9 月～2027 年 3 月に当院の整形外科で腱板断裂と診断され通院されている/されていた方
2 研究目的・方法	研究目的: 肩の前側には、上腕二頭筋長頭腱（肩から上腕にかけて走る腱）の周囲を血管が走っています。本研究では、特に、上腕二頭筋長頭腱に血液を送っている「前上腕回旋動脈」という血管と、その枝分かれした血管が、上腕二頭筋長頭腱の周囲をどのように走っているのかを調べます。この結果から、上腕二頭筋長頭腱を手術で固定する際に、血管を傷つけたり、出血したりする可能性に関係する血管の位置や走り方の特徴を明らかにすることを目的としています。 方法: 超音波を用いて上腕二頭筋長頭腱および前上腕回旋動脈とその分枝を、通常の診療の中で得た診療録の情報から確認します。超音波検査では、「カラードプラ法」という、超音波を使って血液の流れを確認する方法を用いて、血管の位置を確認していますが、確認した血管について、肩の骨を目印として、血管がどの位置を走っているのか、どのような方向に走っているのか、上腕二頭筋長頭腱からどのくらい離れているのかを調査します。得られた超音波検査の結果と、年齢、性別などの情報との関係についても調べます。 研究の期間:施設院長許可後（2026 年 10 月予定） ～2028 年 3 月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	情報:年齢、性別、身長、体重、上腕二頭筋長頭腱から血管までの距離、上腕二頭筋長頭腱に対する血管位置（内側・外側）、血管描出の有無　等
5 個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

6 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 井上淳平 （研究責任者） 名古屋徳洲会総合病院・整形外科、副院長 住所:愛知県春日井市高蔵寺町北 2 丁目 52 番地 連絡先:0568-51-8711

2026 年 9 月 15 日作成(第 1.0 版)